

[令和6年度事務事業]

Ⅱ．事業目的の達成状況							
事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	外国公館等との連携事業数	件	目標値	5	15	18	18
			実績値	5	14		
			達成率	100%	93%		
	当該指標を選定した理由		当該事業の実施数が増加することに伴い、国内外への本市PRや都市魅力の発信につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		外国公館等に対して実施した市内視察やPRイベント等を計上。過年度の実績等から目標を設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	外国公館ほか諸外国等に対する本市のPR件数	件	目標値	8	22	21	
			実績値	20	27		
			達成率	250%	123%		
	当該指標を選定した理由		当該事業の実施数が増加することに伴い、国内外への本市PRや都市魅力の発信につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		外国公館等への訪問等により、本市PRをした回数を計上。過年度の実績等から目標を設定。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	外事事業	事業番号	008-020
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	21,626	17,505	11,997	12,252	20,668
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（基金料子収入、国際文化観光基金、宝くじ収益金）	21,444	17,354	11,312	11,349	16,797
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	182	151	685	903	3,871
14	人件費（b）	11,530	15,955	16,990	16,990	21,860
15	年間経費（c）=（a）+（b）	33,156	33,460	28,987	29,242	42,528

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	(一財)自治体国際化協会分担金	決算		11,000	0	筆耕翻訳料（枠）	決算		0	0
		予算		11,000	0		予算		390	40
	万博国際交流プログラム事業負担金	決算		230	230	その他報償費（枠）	決算		221	221
		予算		5,406	3,426		予算		357	42
	食糧費（枠）	決算		12	12	その他使用料及び賃借料（枠）	決算		285	0
		予算		1,074	24		予算		310	10
	会場等借上料（枠）	決算		64	0	消耗品費（枠）	決算		16	16
		予算		1,035	0		予算		124	19
	自動車借上料（枠）	決算		0	0	その他（普通旅費等）	決算		424	424
		予算		696	66		予算		276	244

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 外国公館ほか諸外国等に対する本市PR事業の実施	件	20	27
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,233	3,612
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	161,650	133,778
算出についての説明等		PR事業に要した報償費や旅費、消耗品費等		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・「Ⅳ. 事業の効率性」における年間経費は約12%増加となったが、万博を翌年度に控え、外国公館への訪問等が増えたことにより、本市PR件数が前年度より大幅に増えたことから単位当たりの経費においては、前年度に比べ約17%減少した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和6年度は、在堺チェコ共和国名誉領事館、在大阪・神戸インド総領事館と連携しつつ、「チェコフェスティバル2024in関西」、「堺・インド 児童生徒絵画展『おたがいを見る眼』」、「北インド古典舞踊のタペ」、「インドDAY in 堺」等の外国公館等連携事業を実施することにより、チェコ文化、インド文化に市民が触れる機会を提供するなど、国際交流の強化に寄与した。 ・大阪・関西万博開催を契機として、今まで交流機会のなかったヨルダンなど新たな国との交流事業実施に向けての意見交換や事業調整を行い、新たな国際交流の推進に寄与した。 ・本事業は、外国公館等との連携やネットワーク強化を行うだけでなく、新たな国との関係構築を行うものである。また、外国公館等との連携事業を実施することで、市民の異文化理解を深め、本市の国際化推進に寄与していると評価できる。
----	---